

令和7（2025）年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題（一般選抜）

（科目名） アジア政治経済論

次の2つの問題に答えなさい。それぞれの解答の冒頭に問題番号を記すこと。（各50点）

問1. 1960年代から1990年代にかけて、アジアの多くの国々が飛躍的な経済発展を遂げた。この経済発展の要因について、国際要因と国内要因に分けて論じなさい。

問2. 冷戦が終了した後、しばらくの間は権威主義諸国が民主化していくことに期待が高まったが、現在その期待の多くは裏切られる結果となっている。例えば、独裁者とその取り巻きが権力を掌握し続けている国や、選挙は行われているが実質的には権威主義的な支配が続いている国は少なくない。この権威主義体制の持続という現象について、アジアの国の例に言及しながら、その原因を論じなさい（言及する例は一ヶ国でも複数の国でも構わない。但し、中国を除く）。

以上